

情報処理学会東北支部研究講演会（秋田大学）報告

○日時：2024年10月28日（月）13時～14時20分

○主催：情報処理学会東北支部

○共催：秋田大学大学院理工学研究科

○場所：秋田大学工学部5号館101（オンライン併用）

○講師：田口 聡樹氏

（株式会社 日立ソリューションズ・テクノロジー 経営企画本部 経営企画部長）

○演題：サステナブルな社会につながるソフトウェア技術とDX

○講演報告：

近年、自動車の情報技術は自動運転や車載システムの高度化、SDV（Software Defined Vehicle）化など大きく進歩しており、自動車の性能や価値にソフトウェアが大きく関わるようになってきた。このような技術革新は安全性や利便性を高めるのに加え、グローバルな経済競争力や社会課題の解決手段としても期待されている。

本講演では、社会課題やリスク、自動車分野における標準化などの動向に関する説明がなされた。また、自動運転やサイバーセキュリティに関する取り組み事例についての紹介が行われた。さらに、データ共有基盤に関する将来展望が示された。

以上のように、自動車分野の取り組みを対象に、ソフトウェア人材の育成やデジタル社会の今後についても理解することができ、参加者にとって非常に有意義な講演であった。

○参加者：約120名

○報告者：景山陽一（秋田大学大学院理工学研究科）